

2022年10月3日(月)
公益財団法人 マツダ財団

第7回マツダ財団サロンのご案内

日時：2022年11月17日(木) 18:30-20:00
場所：オンライン Microsoft Teams 使用
テーマ：「オンラインを使った居場所づくり」について

タイムスケジュール：

18:30 参加者紹介
18:40～19:10 研究発表① 愛媛大学教育学部 准教授 富田 英司 様
19:10～19:40 研究発表② 和歌山大学教育学部 教授 村瀬 浩二 様
19:40～20:00 意見交換
20:00 写真撮影、終了

(研究概要は次ページ参照)

(お問い合わせ) マツダ財団 井上 Inoue.to@mazda.co.jp

以上

第7回マツダ財団サロン 発表者活動概要

名前（敬称略）	所属	概要
富田 英司	愛媛大学 教育学部	<p>ポストコロナ時代のハイブリッド青少年交流環境</p> <p>本研究は、感染症等の拡大予防措置で社会的隔離が必要な状況においても、青少年の健全育成に最低限必要とされる社会的交流の機会を確保すると同時に、対人接触の自粛緩和時に速やかに現実の交流に移行できるような、地域社会と連携した地域密着型バーチャル空間を確立することを目的としている。募集対象は、社会的交流の機会が激減した子どもを持つ家庭とし、ICT機器をその適切な使用方法の学習機会とともに提供する。参加者の行動やアンケート結果を解析することで、子育て支援へと繋げる仕組みを構築する。</p>
(2020年度申請書から)		
村瀬 浩二	和歌山大学 教育学部	<p>オンライン放課後 ～運動遊びを通じた子どもの居場所づくり～</p> <p>本研究では、オンライン放課後プログラムの開発を目指し、子ども達が参加できるヴァーチャルな運動遊び空間を創造する。このヴァーチャルな運動遊び空間は大学生を中心としたボランティアによるプレイリーダーにより運営され、参加者の自律的な遊びが大切にされ、かかわり合いが大切にされる。参加者は小学生の異年齢集団とし、家庭から接続することを想定している。ヴァーチャルな運動遊びに適したオンラインシステムのデザインとファシリテーションの行い方を確立し、アクションリサーチ研究によって、その改善を繰り返すことで、「新しい生活様式」に適合し、多様性の中で心身ともに豊かに成長する機会となるヴァーチャルな運動遊び空間としてのオンライン放課後プログラムの開発と検証を目指す。</p>
(2020年度申請書から)		